

## 下水道事業特別会計決算の概要

平成 22 年度大磯町下水道事業特別会計決算は、歳入においては 13 億 551 万円で、予算現額に比べて 2 億 5,475 万円の減、歳出においては 12 億 7,518 万円で、予算現額に比べて 2 億 8,508 万円の減となっています。歳入歳出差引残額は 3,033 万円となり、実質収支額は 3,033 万円となります。

決算額を前年度と比較すると、歳入においては 2 億 413 万円の減（対前年度伸び率△13.5%）、歳出においては、2 億 1,932 万円の減（同△14.7%）となります。

歳入の主な内訳は、分担金及び負担金 8,259 万円（同皆増）、使用料及び手数料 1 億 4,305 万円（同 5.9%）、国庫支出金 1 億 6,521 万円（同△47.3%）、県支出金 880 万円（同△46.8%）、繰入金 4 億 1,351 万円（同△3.8%）、繰越金 1,514 万円（同△34.6%）となっています。

歳入が減となった主な理由としては、建設事業費の減に伴う国庫支出金の減、町債の減によるものです。

歳出の主な内訳は、総務費 9,682 万円（同 1.6%）、事業費 5 億 8,992 万円（同△35.1%）、公債費 5 億 8,844 万円（同 20.3%）となっています。

歳出が減となった主な理由としては、公共下水道整備事業において、工事費の減によるものです。

公共下水道は、平成 22 年度末現在、第 3 期事業認可区域 462.44ha のうち 299.68ha の区域で公共下水道の供用が開始されており、普及率は 53.6%、接続率は 75.3%になっています。

本年度歳出総額の 46.3%が建設事業費で占められ、公債費も含めると 92.4%と、歳出のほとんどを占めています。その財源の 6 割以上は町債と一般会計からの繰入金で賄われていますが、下水道整備に伴う受益者負担金や下水道使用料の収入増が見込まれ、一般会計からの繰入金が増減傾向にあります。

下水道事業特別会計は、本来独立採算制が原則です。健全な事業運営のため、適正な下水道使用料の検討など、自主財源の確保を図るとともに、下水道接続の促進と公共下水道事業に対する理解を得るために、趣旨普及活動の推進に努めました。

## 平成22年度下水道事業特別会計決算額

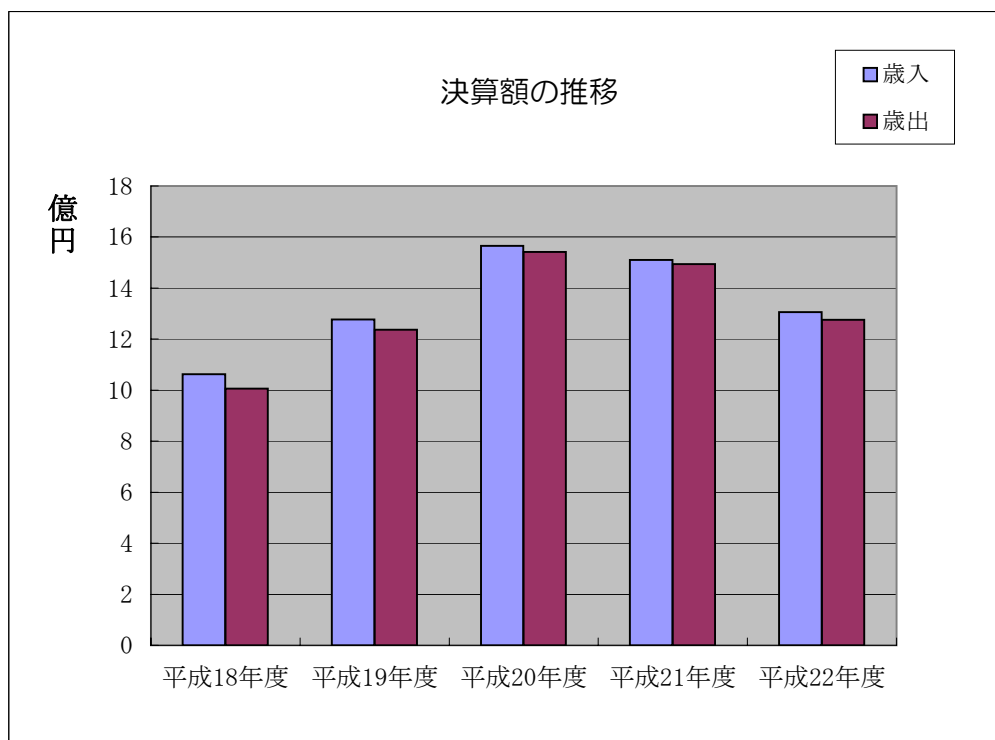
(単位 千円)

区分	予算現額	決算額	予算現額との比較 歳入は増減額 歳出は翌年度繰越額及び不用額	予算現額に対する決算額の割合(%)
歳入	1,560,264	1,305,510	△ 254,754	83.7%
歳出	1,560,264	1,275,181	285,083	81.7%
歳入歳出差引残高		30,329		
翌年度へ繰り越すべき財源		0		
実質収支額		30,329		

## 下水道事業特別会計決算額の推移

(単位 千円)

年度	歳入	歳出	差引	平成18年度を100とした指数	
				歳入	歳出
18	1,061,921	1,006,427	55,494	100.0	100.0
19	1,277,394	1,236,751	40,643	120.3	122.9
20	1,565,275	1,542,117	23,158	147.4	153.2
21	1,509,639	1,494,501	15,138	142.2	148.5
22	1,305,510	1,275,181	30,329	122.9	126.7



## 目的別決算状況

### 歳入

(単位 千円)

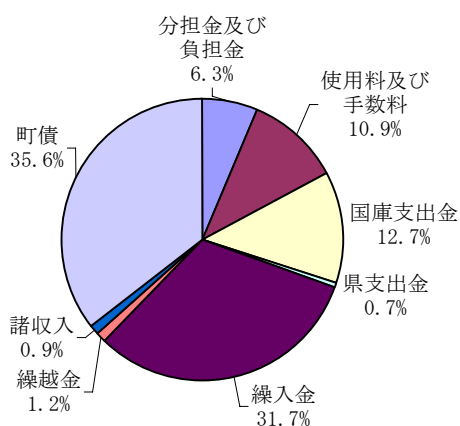
款	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	不納欠損額	収入未済額	予算現額に対する増減額 (B-A)
1.分担金及び負担金	81,835	87,494	82,586	33	4,875	751
2.使用料及び手数料	137,212	144,012	143,052	13	947	5,840
3.国庫支出金	249,880	165,210	165,210	0	0	△ 84,670
4.県支出金	14,083	8,805	8,805	0	0	△ 5,278
5.繰入金	413,510	413,510	413,510	0	0	0
6.繰越金	15,138	15,138	15,138	0	0	0
7.諸収入	10,006	11,809	11,809	0	0	1,803
8.町債	638,600	465,400	465,400	0	0	△ 173,200
歳入合計	1,560,264	1,311,378	1,305,510	46	5,822	△ 254,754

### 歳出

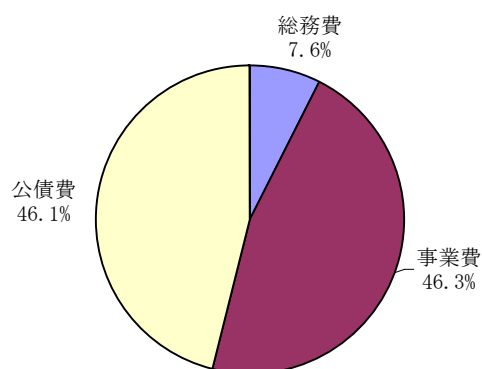
(単位 千円)

款	予算額 (予算+補正) (A)	繰越事業費 繰越額 (B)	予備費充当額 (C)	予算現額(D) (A+B+C)	支出済額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D-E-F)
1.総務費	97,867	0	0	97,867	96,821	0	1,046
2.事業費	828,918	38,244	0	867,162	589,919	193,202	84,041
3.災害復旧費	200	0	0	200	0	0	200
4.公債費	593,034	0	0	593,034	588,441	0	4,593
5.諸支出金	1	0	0	1	0	0	1
6.予備費	2,000	0	0	2,000	0	0	2,000
歳出合計	1,522,020	38,244	0	1,560,264	1,275,181	193,202	91,881

### 歳入の構成



### 歳出の構成



### 目的別決算額の構成比

歳入 (単位 %) (単位 %)

款	対予算現額	構成比
1.分担金及び負担金	100.9	6.3
2.使用料及び手数料	104.3	10.9
3.国庫支出金	66.1	12.7
4.県支出金	62.5	0.7
5.繰入金	100.0	31.7
6.繰越金	100.0	1.2
7.諸収入	118.0	0.9
8.町債	72.9	35.6
歳入合計	83.7	100.0

歳出 (単位 %)

款	対予算現額	構成比
1.総務費	98.9	7.6
2.事業費	68.0	46.3
3.災害復旧費	0.0	0.0
4.公債費	99.2	46.1
5.諸支出金	0.0	0.0
6.予備費	0.0	0.0
歳出合計	81.7	100.0

### 国庫支出金の推移

(単位 千円)

区 分 \ 年 度	2~17	18	19	20	21	22	累計
金 額	4,199,100	139,305	233,400	311,603	313,617	165,210	5,362,235

### 下水道建設費の推移

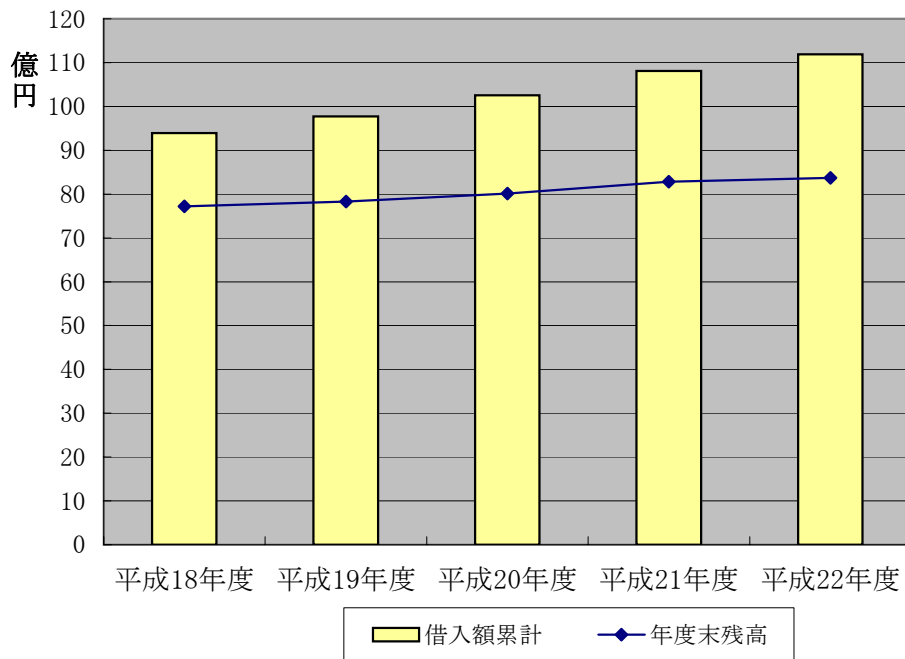
年 度	下水道建設費 (千円)			管布設延長 (m)			整備面積(ha)	流域下水道建設負担金(千円)
	補助事業費	単独事業費	計	幹線	枝線	計		
18	278,610	179,323	457,933	394.0	2,499.0	2,893.0	10.5	18,919
19	466,800	190,275	657,075	407.0	4,674.0	5,081.0	19.1	18,894
20	623,206	209,766	832,972	19.0	6,082.6	6,101.6	21.6	18,511
21	627,234	282,377	909,611	522.2	4,409.0	4,931.2	20.3	17,730
22	330,420	259,499	589,919	950.0	1,894.0	2,844.0	14.1	15,021

### 下水道事業債(町債)の推移

(単位 千円)

区 分 \ 年 度	2~17	18	19	20	21	22	累計	
金 額	9,146,500	244,100	384,100	479,800	556,900	380,400	#####	
内 訳	公共下水道事業債	7,335,800	226,000	366,100	462,000	540,000	366,000	9,295,900
	流域下水道事業債	1,810,700	18,100	18,000	17,800	16,900	14,400	1,895,900

### 町債の推移



## 受益者負担金及び下水道使用料徴収状況

(単位 円)

種目	区分	賦課区分	調定額	収入済額	徴収率(%)
	受益者負担金	現年度分		84,211,620	82,506,310
滞納繰越分			3,282,500	79,150	2.4
計			87,494,120	82,585,460	94.4
下水道使用料	現年度分		142,890,176	142,300,673	99.6
	滞納繰越分		764,436	393,396	51.5
	計		143,654,612	142,694,069	99.3

## 受益者負担金及び下水道使用料徴収状況の推移

(単位 千円)

種目	年度	区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	受益者負担金	調定額		90,128	31,430	40,715	26,167
収入済額			87,228	28,444	37,138	22,375	82,586
徴収率			96.8%	90.5%	91.2%	85.5%	94.4%
平成18年度を 100とした指数	調定額		100.0	34.9	45.2	29.0	97.1
	収入済額		100.0	32.6	42.6	25.7	94.7
下水道使用料	調定額		103,142	112,129	128,739	136,059	143,654
	収入済額		102,440	111,488	128,402	134,167	142,694
	徴収率		99.3%	99.4%	99.7%	98.6%	99.3%
平成18年度を 100とした指数	調定額		100.0	108.7	124.8	131.9	139.3
	収入済額		100.0	108.8	125.3	131.0	139.3

## 受益者負担金及び下水道使用料滞納繰越分徴収の推移

(単位 千円)

種目	年度	区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
受益者負担金 滞納繰越分		調定額	2,228	2,837	2,750	3,511	3,282
		収入済額	487	898	727	439	79
		徴収率	21.9%	31.7%	26.4%	12.5%	2.4%
受益者負担金調定総額			90,128	31,430	40,715	26,167	87,494
上記に対する滞納繰越分 調定額の割合			2.5%	9.0%	6.8%	13.4%	3.8%
下水道使用料 滞納繰越分		調定額	1,144	1,063	1,874	866	764
		収入済額	442	424	1,537	473	393
		徴収率	38.6%	39.9%	82.0%	54.6%	51.4%
下水道使用料調定総額			103,142	112,129	128,739	136,059	143,654
上記に対する滞納繰越分 調定額の割合			1.1%	0.9%	1.5%	0.6%	0.5%

## 処理区域内における接続等普及状況

年 度	供用開始 面積(ha)	区域内 人口(人)	接続人口 (人)	接続率 (%)	融資斡旋 (件)	奨励金 (件)
18年度	56.67	2,918	1,045	71.9	2	273
19年度	8.39	611	764	74.1	10	152
20年度	13.71	767	916	76.4	1	143
21年度	9.22	500	557	77.5	0	95
22年度	36.95	1,925	1,107	75.3	1	240
4年度から 22年度累計	299.68	17,980	13,543	—	23	2,487